

情報公開文書

研究の名称	胸部レントゲン写真から AI 技術を用いて肺うっ血を定量する後ろ向き観察研究
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学第二内科 今村輝彦
研究の概要	<p>【研究対象者】 富山大学附属病院循環器病棟に 2021 年 8 月から 2022 年 7 月の間に入院した患者のうち、胸部レントゲン写真と ReDS 値測定を行った症例（ReDS 値は本学倫理審査委員会の承認と患者の同意書を得て、以前に測定したものを我们用います：MTK2020007 2021 年 3 月 3 日）。</p> <p>【研究の目的・意義】 本研究では、胸部レントゲン写真を撮影した入院患者において、ReDS 値を測定した患者群を対象とします。ReDS 値の測定は、本学倫理審査委員会の承認と患者の同意書を得たうえで、以前に測定した値を用いる（MTK2020007 2021 年 3 月 3 日）。ReDS 値が肺うっ血量の真の値と定義したとき、医療従事者が胸部レントゲンを読影した結果として算出される congestion score index (CSI) と、AI が算出した値とを比較して、AI 技術が医療従事者の読影に勝るものであるかどうかを比較検証します。</p> <p>【研究の方法】 本研究は通常保険診療下で得られたデータを利用する、後ろ向きの登録研究です。入院時の胸部レントゲン写真と ReDS 値を用います。ReDS 値の測定は倫理審査委員会の承認を得ており（MTK2020007 2021 年 3 月 3 日）、各患者から同意書を得ています。年齢・性別、基礎疾患、採血データ、心臓超音波検査の結果なども併せて入手します。胸部レントゲン写真に対して AI 解析を行い、肺うっ血を定量評価します。同一の胸部レントゲン写真に対して、臨床医が肺うっ血を評価して、CSI を算出する。両者を比較検討することによって AI の診断能を評価します。次に、AI による評価に患者の背景データを追加することによって診断能が向上するかどうかを検証します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ~ 2025 年 3 月 31 日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 本研究で得られた解析結果は、個人が特定できない状態で学会および学術雑誌に報告します。本研究目的以外の研究に情報を用いる場合、科学的価値が高いと判定された研究に限り、国内および国外の研究グループとの共同研究に使用する可能性もあります。その際は再度倫理審査委員会への申請・承認を経てから行い、書面を持って詳細に関しては改めて掲示を行います。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>(1) 主要評価項目 ReDS 値による肺うっ血定量値</p> <p>(2) 基本項目 ・年齢、性別 ・既往歴（高血圧・糖尿病など）</p> <p>(3) 臨床所見・検査所見</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ NYHA 心機能分類 ・ 体重・身長・BMI ・ 血圧・心拍数 ・ 血液所見；血清 Cr, BUN, Na, K, Cl, BNP or NT-proBNP ・ 心臓超音波：EF など <p>他機関への提供はなし</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学第二内科 今村輝彦
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-281（内線 7296）</p> <p>FAX 076-434-5026</p> <p>E-mail teimamu@med.u-toyama.ac.jp</p> <p>担当者所属・氏名 富山大学第二内科 今村輝彦</p>